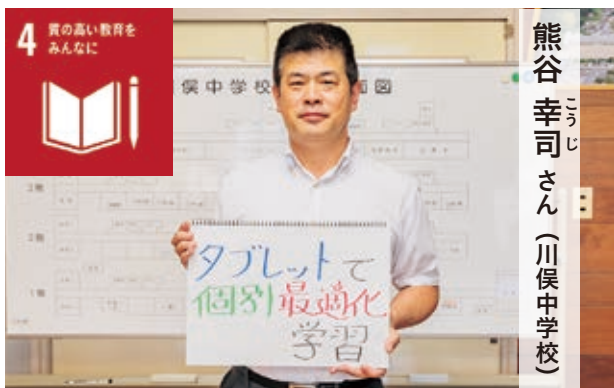




タブレットを使った学習は授業内でクラス全員での情報共有やインターネットを使った情報収集を可能にし、生徒が意欲的に学習を進めることができます。もちろん教師と生徒間でのやりとりも可能なので教師も生徒にあった学習を進めることができます。今後も情報モラルを守りつつより良い授業をしていきます。



夫婦で仕事の休みの日が違うので、家事や子育てを協力し合ってやっています。1人ではできないことも補い合いながらすることで、気持ちも身体も楽になります。そのようにしてずっとやってきたので「男だから」「女だから」という考えはありません。これからも3人仲良く助け合いながら過ごしていきます。



川俣町でもすでに SDGs に取り組んでいる人たちがいます。「毎日のようにしているあれが」「知らなかったけどこれが」そのように、皆さんもすでに SDGs を実践しているのかもしれません。これからの明るい未来を守るため、できることから始めてみませんか？



昭和 40 年の創業から廃材を利用してお湯を沸かしています。廃材を使うことによりお湯が柔らかくなり芯まで温まるほか、森林伐採を減らせたり、石油などの燃料を抑えられるので CO₂ の排出を削減することができます。また、銭湯に入ることは各家庭でお湯を沸かす必要がないのでエコに繋がります。



森の案内人として 24 年間、県北地方で森の大切さや自然の中で遊ぶ楽しさを教えています。特に子どもたちには、地球温暖化についての話や森林が私たちの暮らしにもたらす役割について、森の中を一緒に歩きながら実体験を交えて教えることで、楽しく森について学習してもらえるようにしています。





フランスやイタリアでパティシエとして修業をしてきました。その中で地域にあった生産方法の国産・有機栽培の材料を使うことは、環境への負担を少なくすること、安心・安全な食事を子どもたちにも食べてもらえること学びました。また、洗剤も合成洗剤不使用のものを使うなど環境に配慮した生活をしています。



学生時代に体操競技をやったこともあり、身体を動かすことが好きで、平成 20 年からは町の運動推進員として活動しています。高齢化率の高い川俣町ですが、いつまでも元気に長生きしてもらえるように、サロンやヨガ教室、体操教室などを通して心も身体も健康になってもらえたら嬉しいです。



変えよう世界、守ろう未来



今年新築した家に太陽光パネルを設置しました。晴れている日は、エアコンや照明などの生活で使うほとんどの電気を補うことができます。また火を使わない生活は安全安心で、災害時などの非常時に電気が使えるので安心して過ごすことができます。これからも家族で ECO ライフを充実させたいと思います。



もともとアパレルで働いていたこともあり、退職後に着なくなった着物や、前掛け、洋服などの生地を再利用してマイバッグを作り始めました。余すところなく紐やポケットにしたり、柄やロゴに合わせてデザインをしたりするのがとても楽しいです。これからも“もったいない”精神で SDGs に取り組みたいと思います。

